

颯新クラブ・公明党・無会派・ 会派合同研修報告書

- ①参加者 颯新クラブ・小沢重則・藤原正夫
公明党 ・金丸幸司・加藤敬徳
無会派 ・滝川美幸

②日時 令和5年2月14日～2月16日

③研修先（1日目） 山形県遊佐町

④研修内容 「若者と行政の相互教育・遊佐町少年議会の取り組み」

今年で20年目を迎える遊佐町少年町長、少年議員公選事業です。これは、遊佐町に在住、在学の中高生を対象に、遊佐町の若者代表として活動をしてもらう取り組みです。

遊佐町少年議会を立ち上げたきっかけについて地域の問題、課題を解決し時代を牽引していく役割を担う若者減少や、町を離れてしまった現状がありました。そのようなことから若者自身が自分達で何かできるか考えて地域の中で役割を発見していくことが必要であると考え2003年に遊佐町少年議会がスタートしました。実際の活動は年3回の「少年議会」と政策を実現していくために年15回ほど「全員協議会」を行っています。

また「少年議会」では町長、副町長、教育長、全課長が集まり、有権者からのアンケートをもとに、政策の立案、要望を行います。

特徴としては少年議会には政策実現のため、45万円の独自予算を設け、決められた期間で政策を進めています。

⑤ 感想

遊佐町では少年議会の取り組みにより若者の議会への関心が高まり、この町を良くしたいなど自発的な取り組みを町や議会などが後押ししている。また若者の選挙投票率も上がり甲斐市に於いても主権者教育の一環として、投票率向上など効果があると考える。これらの取り組みを今後、検討していく。

山形県遊佐町 研修の様子





颯新クラブ・公明党・無会派・ 会派合同研修報告書

- ①参加者 颯新クラブ・小沢重則・藤原正夫
公明党 ・金丸幸司・加藤敬徳
無会派 ・滝川美幸

②日時 令和5年2月14日～2月16日

③研修先（2日目） 岩手県紫波町

④研修内容 「公民連携による駅前公有地活用オーガルプロジェクト」

紫波町は、J R紫波中央駅前の町有地 10.7 ha を中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を伺い、平成 21 年 3 月に議会の議決を経て紫波町公民連携基本計画を策定しました。この基本計画に基づき、平成 21 年度から紫波中央駅前都市整備事業「オーガルプロジェクト」が始まりました。

・公民連携基本計画に記載した「地域の課題の解決」の主な内容

- ① **子育て世代の転入誘導**→町全体に安住促進の空気をつくる
- ② **若い世代の流出抑止対策**→挑戦の拠点づくりによって若者誘導
- ③ **商店街地区の人口減少対策**→当初は町営住宅の移転整備も想定
- ④ **少子高齢化対策**→出産・子育て環境が充実したまち
- ⑤ **雇用の場の確保**→公民連携事業により雇用創出を図る

オーガルユニークポイントとして、都市と農村の暮らしを「ゆしみ」、環境や景観に配慮したまちづくりを表現する場にすることを理念しています。「町民の資産」である町有地を活用して、公民連携手法を用いながら財政負担を最小限に抑え、公共施設整備と民間施設等立地による経済開発を進めております。「ピンホールマーケティング」により紫波町やオーガルの特色を生かしながら、新しいライフスタイルを提案し続けています。「オーガルエリア・デザインガイドライン」を定め、人と環境に優しい統一感のある景観で、住みよい町を目指しています。

感想

人口減少や高齢化社会が現実問題となった今、良質で効率的な公共サービス実現は重要な課題であり市民サービスの一部を民間団体や民間事業者に委ねることに留まらず、民間団体・民間事業者・行政が適切な役割分担に基づいて公共領域を創造し、市民サービスの質や量の充実を図っていくことが求められている。改めて民間の知恵やアイデア、資金や技術、ノウハウを活用することで、公共サービスの向上や業務の効率化、地域経済並びに、地域活動の活性化など公民連携の重要性を学んだ研修でした。

紫波町の視察研修の様子

